



札幌部会(第21回)

日時:	2019年10月5日(土) 14:30-17:00
場所:	Sapporo55ビル 5階 キャリアバンクセミナールーム
参加者:	野間(同志社大)、杉田(千葉県立津田沼高)、中山(京都府立園部高)、川瀬(札幌市立北翔養護)、萱津(根室高)、奥村(南富良野高)、奈良(藤女子中高)、竹内(稚内養護)、山崎(北見北斗高)[順不同]

【内容要旨】

1. 「春の経済教室in札幌」について

第1候補を3月21日(土)午後1時から、第2候補を2月中旬の土曜日で、ただし、2月中は降雪や天候等で道内移動も厳しいのではないかと意見が出された。テーマについては中央で行われる「新テスト企画」ではなく、北海道のどこの地域にも関係する「人口減少問題」をテーマにしたい。このためエコノミストとして第一人者の諸富先生をお迎えし、SDG'sと人口減少を踏まえた上でのまちづくりや地域おこしに関連するようなご講演並びに授業実践報告、教材研究について、シンポジウムのまたは課題研究的な研修の場にてできればとの意見が出された。

2. 実践報告

① 「RESAS(地域経済分析システム)を活用した経済学習の構想」について

山崎より、RESAS(地域経済分析システム)を活用した経済学習の構想について、PCによる解説、演示を加えながら報告を行った。

杉田先生からは、唐木清志氏(筑波大学)の提言する「①(人口減少時代の)問題の把握→②分析⇒③意思決定→④提案」の流れで授業設計し取り組んでみたらどうかとの助言があった。野間先生からは、学習の中に持続可能性の側面をもっと持たせたら良いのではとの指摘があった。また、野間先生のレクチャーのもと、RESASの統計の出元や読み解き方について参加者どうしで考察を深め合った。今後、現在取り組んでいるSSH探究学習の成果も合わせて、学習プランにブラッシュアップを施して3月予定の経済教室で提示できればと考えている。

② 「他の教師を巻き込んだ小論文指導」の実践について

川瀬先生より、札幌旭丘高校進路指導部長のときに実践した他の教員を巻き込んだ小論文指導、読書指導のやりかた、論文展開の指導法などについて報告が行われた。AO受験や推薦受験で個人の先生が抱え込むのではなく、全体のものになるように試みた資料等が提示された。その後、論文の書き方の型を生徒に教えることの是非について参加者どうしで議論が行われた。

3. 補足

川瀬先生より、『中等教育資料』の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習指導の工夫改善(総則・社会、地理歴史、公民の解説)」の資料と、読売新聞の「経済学×現代」の記事が配布された。

野間先生より、大阪部会の奥田先生の資料「労働問題に着目した中学校公民的分野の授業開発」と、李先



生の資料「全国公立高校入試(2019年実施)について」が配布された。

引き続き懇親会を実施し、北海道の有名な実践者の授業内容や、授業研究に関連する本の紹介などが行われた。また、道内外の遠方からの参加者がいる中、札幌周辺の参加者をどう増やしていったら良いかについても話し合われた。

(文責:山崎 辰也)

次回開催予定:次回は、春の経済教室in札幌として3月21日(土)に開催予定。時間は13:00~17:00。場所は、Sapporo55ビル5階 キャリアバンクセミナールーム。